

愛南の魅カぎっしり

愛南びやびや祭り2015

5月24日、南レクロッジ周辺で、愛南町恒例の初夏の祭典「愛南びやびや祭り2015」が今年も盛大に開催されました。

「びやびや」とは、「新鮮な」、「とれたて」を意味する愛南町の方言です。びやびや祭りでは、その言葉どおり、前日水揚げされたばかりの新鮮なカツオをはじめ、ヒオウギ貝やもぎたての愛南ゴールド（河内晩世）など本町自慢の特産品が数多く販売され、愛南町の旬の味覚を求めて訪れた大勢の買物客で賑わいました。

愛南町の魅力を凝縮した熱く、楽しく、そしておいしい1日を写真で振り返りました。



**愛南町自慢の
カツオは鮮度抜群!!
ご賞味あれ!!**



新鮮カツオずらり

『びやびや祭り』の目玉コーナー「カツオの一本売り」。

ずらりと並ぶのは、前日夕方に深浦漁港で水揚げされたばかりの1.5キロ〜10キロのカツオ約300本。販売開始の約2時間前から並ぶ来場者もいるなど、とびきり新鮮なカツオを求めて長蛇の列ができました。



絶品!! わら焼きの

カツオのたたき

愛南漁協の職員の方々が、愛南町自慢の「わら焼きのカツオのたたき」をより多くの人に堪能してもらおうと、午前6時頃から調理を始まりました。

「ほかでは味わえないおいしさ」、「まさに絶品」と多くの来場者が舌鼓を打ちました。



カツオの解体に挑戦

会場の一角に設けられた「カツオの解体教室」。愛南町役場水産課職員によるカツオの解体実演が行われたほか、来場者も飛び入りでカツオの解体に挑戦しました。

松山市からお越しの木村岩男^{いすけ}さんは、カツオの一本売りコーナーで購入した8キロほどのカツオを、水産課職員の手ほどきを受けながら、見事に3枚におろしました。木村さんは、「カツオは頭部に硬いウロコ部分があるなど、さばくのが難しいと聞いていたので、この教室があったらよかった。さばき方がわかったので、毎年愛南町のおいしいカツオを買いに来ます。早く刺身で食べたい」と話してくれました。





自治体間交流を行っている兵庫県篠山市からも愛南町のイベントに初めて出店していただき、特産の丹波篠山黒大豆の加工品などの販売や、篠山市の紹介を行っていただきました。



カツオ料理コーナーでは、たたきや刺身、握りずしを販売。飛ぶように売れました。



愛南グリーン・ツーリズム推進協議会のブースでは、緑小学校の児童が接客業務を担当。愛南ゴールド生搾りジュースコーナーは毎年大人気で、多くの方にその爽やかなのどごしを楽しんでいただきました。



愛媛の農業・産業・地域が素敵な花を咲かせるお手伝いをするための農園発信ガールズチーム「愛の葉ガールズ」も登場。今年のびやびや祭りを大いに盛り上げてくれました



久良漁協は、ご自慢の養殖クロマグロを販売。脂ののった極上の大トロの刺身などが大人気。



第2会場で行われたB&Gカヌー・バナナボート体験。子どもだけでなく大人も大はしゃぎでした。



「びやびや祭り」には愛南の
魅力が満載や
な〜し。